

水いぼの患者さんへ

【水いぼとは】

伝染性軟属腫ウイルスの感染が原因で、就学前の5～6才をピークに小さな子どもに多くみられる疾患です。

【感染について】

人から人への直接的な接触や、掻くことによって自分自身の皮膚に感染させたり、タオルの共有などからうつることもあります。学校やスイミングプールのビート板やアームヘルパー等でうつることが多いようです。最近では冬でも温水プールで泳げるため、1年中水いぼの感染がみられます。

水いぼに対する免疫は、1～2年程かかります。この間放置することにより、治らないこともあります。

- ★アトピー性皮膚炎や乾燥肌のお子さんになりやすく、皮膚の乾燥やかゆみのために皮膚を掻いてしまうと、水いぼは広がります。乾燥による湿疹も並行して一緒に治療することをおすすめします。
- ★保育園、幼稚園、学校では水いぼがあるとプールに入れないところもあります。水いぼは1回では取りきれないことが多く、2～3回は通院が必要です。夏までに早目に治すようにしましょう。

【治療法は？】

水いぼを一つずつピンセットで取っていくため、通常は痛みをとまいません。

そこで当院では診察の際にペンレステープをお渡しし、痛みなく水いぼを取ることをおすすめしています。

このテープには局所麻酔がついているため、皮膚の表面に麻酔が作用します。
(全身への影響はありません。)



【入浴について】

水いぼ処置をした当日は、お風呂に入るのはやめていただき、シャワーを浴びる程度にしてください。

【ペンレステープの貼り方】

- ★一つ一つに貼ってください。(大きく何個かをまとめて貼るはおやめください。)
- ★処置を行う **3時間前** に貼ってください。
- ★汗をかくとテープがはがれ、麻酔効果が薄れますので処置するまでは、なるべく涼しい部屋で静かに過ごすようお願いいたします。
- ★ペンレステープの上から紙テープなどを貼ってもらうとはがれにくくなり処置がスムーズに行えます。
- ★水いぼが多くある方は、一度に全ての水いぼを取りきることは困難なため、貼る箇所は、なるべく **10個程度** までとして下さい。

